平成25年5月13日

各　　位

東京都品川区大崎一丁目11番2号
コムチュア株式会社
代表取締役会長　向　浩一
（コード番号：3844　東証第二部）
問い合わせ先　取締役経営企画本部長 細川 琢夫
電話番号　03－5745－9700

中期経営計画の策定について
（2013年4月1日 ～ 2016年3月31日）

コムチュア株式会社（東京都品川区　代表取締役会長　向　浩一）は、情報サービス産業を取り巻く事業環境の変化を踏まえ、この度、2016年3月期を最終年度とする中期経営計画を策定致しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1.　中期経営計画策定の狙い

2012年度の我が国経済は、欧州の債務問題等、世界経済の不安要素が払拭されない中での厳しい状況で推移しましたが、2013年度に入り、円安・株高を背景として、景気の回復への期待が高まってきております。

当社が属する情報サービス産業界においても、昨年度は製造業での情報投資の回復傾向による市場全体での成長が見られ、今年度以降も経済の緩やかな回復を背景にプラス成長を継続するものと見込まれています。 その中でも新たなプラットフォーム市場と呼ばれるクラウド・コンピューティングやモバイルの分野は引き続きICT市場の構造変化をリードするものとみられています。

このような状況を踏まえ今般、当社は、持続的な成長を目指し、2013年度を初年度とする新しい「中期経営計画」を策定いたしました。

2.　中期経営計画の概要

【計画期間】

2013年4月から2016年3月までの3カ年

【経営理念】

お客様には“感動”を、社員には“夢”を

【経営ビジョン】

クラウド時代をコラボレーションでリードするコムチュア

【経営戦略】

『成長戦略』

クラウド、モバイル関連事業を軸に、新しい成長エンジンと他社との連携ビジネスの創出に取り組んでまいります。

『顧客戦略』

中期目標を牽引するキーアカウントを決め、既存の重点顧客との取引拡大と新規ユーザー層の開拓に努めていきます。

『人材戦略』

付加価値の源泉である人材の育成と補強に努めます。 また、トップダウン型経営と現場力を融合させた組織運営を行い、経営基盤の強化を図っていきます。

『研究開発戦略』

新たな価値の創出を目指した研究開発の支援制度を進化させ、クラウド、モバイル分野での新製品・新サービスの開発に取り組んでまいります。

『品質戦略』

プロジェクト管理の精緻化、および品質、工程と原価の可視化を進めることで、プロジェクト課題への先手対策でサービス品質の向上に努めて参ります。

『提携戦略』

相乗効果を前提におきながら、クラウド、モバイル分野の事業基盤の強化を狙った業務提携に積極的に取り組み、成長スピードを加速させます。

これらの取り組みで、2016年3月期には、売上高100億円超を目指し、利益についても売上高の伸びと同等もしくはそれ以上の伸びを目指します。

【業績目標】

年度	2013年3月期（実績）	2014年3月期（計画）	2015年3月期（計画）	2016年3月期（計画）	年平均成長率（13年3月期～16年3月期）
売上高(百万円)	7,168	8,000	8,960	10,040	12%
営業利益(百万円)	802	880	1,030	1,200	14%
営業利益率（%）	11.2%	11.0%	11.5%	12.0%	－

（注）上表は、既存事業のみでの中期計画値であり、外数として、M&Aを含む新規事業があります。

【利益還元方針】

コムチュアグループは、「クラウド時代をコラボレーションでリードするコムチュア」を目指し、積極的な事業展開と戦略投資を行い、企業価値の持続的向上を図ってまいります。

利益還元につきましては、株式の流動性の向上を図るとともに、引き続き積極的な利益配分を基本方針とし、配当性向30%以上を目標といたします。

以上

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。
そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることがあることをご承知おきください。